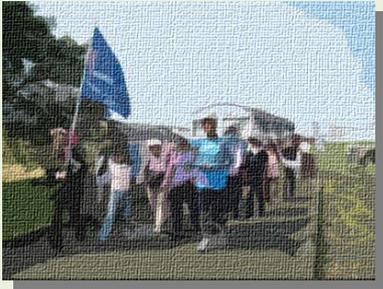




KAWASAKI CITY

多摩川は今

川崎市多摩川プラン事業実施報告書



2012(平成24)年3月
川崎市多摩川プラン推進会議



ごあいさつ

川崎市では、多摩川を「母なる川」として市民共有の財産と位置づけ、より身近な魅力ある空間とするため、2007（平成19）年3月に「川崎市多摩川プラン」を策定しました。

川崎市多摩川プランは「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」を基本理念に掲げ、「理解」・「整備」・「保全・活用」の3つの基本的視点から多摩川のあるべき姿を描いています。

2011（平成23）年度には、プランに定められた「重点エリア」である多摩川緑地丸子橋地区（中原区）の整備や、リーディングプロジェクトとして位置づけられた施策を中心に取り組んできました。

本書により市の取組を知っていただくとともに、多摩川へ足を運んでいただくきっかけとなれば幸いです。

2012(平成24)年3月
川崎市多摩川プラン推進会議

基本理念

「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」

多摩川プランでは、「川崎の母なる川・多摩川」の魅力を含めた一人ひとりの市民が共有し、豊かな自然環境と多様な生命が共存しうる新しいライフスタイルを創造することを目指します。

また、総合行政の展開・推進を図るとともに、多摩川についてのさまざまな情報発信を行いながら、過去の多摩川の記憶を前提として、多摩川の未来を語りながら、多摩川の課題とあるべき姿、目指すべき方向性を共通のものとし、それぞれの主体がともに役割と責任を担い、市民、企業、行政が協働しながら、より魅力的で豊かな多摩川を持続的に育てていけるしくみづくりを目指します。

基本的視点

多摩川を『理解』する

- 多摩川の「これまで」の歴史を振り返る
- 多摩川の風景・ランドスケープデザインを考える

多摩川を『整備』する

- 市民に身近な集いの場として多摩川のさらなる利用を促進する
- 運動施設としての多摩川緑地を充実する

多摩川を『保全・活用』する

- 子どもたちの環境学習のフィールドとしての水辺を活用する
- 多摩川を持つ豊かな自然環境資源を活かす
- 多摩川流域での連携により多摩川を保全する

もくじ

ごあいさつ

多摩川を理解する

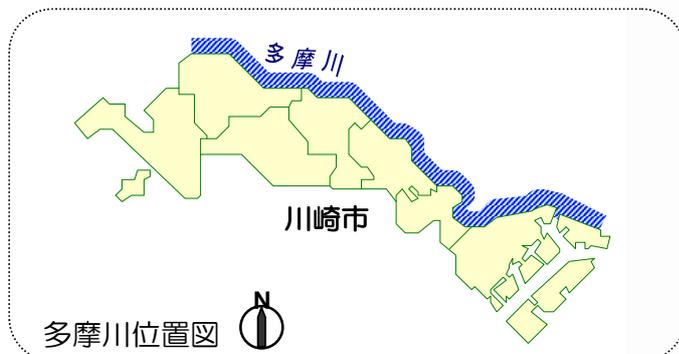
1. 多摩川の歴史を彩る風景「渡し」
2. 多摩川流域セミナー
3. 多摩川多面性調査

多摩川を整備する

4. サイン整備の推進
5. 河川敷トイレの利用環境の向上
6. 有料バーベキュー広場開設
7. 北海道日本ハムファイターズグラウンドの跡地利用
8. 緑地の維持管理
9. 施設の更新
10. サイクリングコース復旧
11. 運動施設の利用環境向上
12. マラソンコース改良

多摩川を保全・活用する

13. 環境学習
14. 市内3校の水辺の楽校
15. 夏休み多摩川教室
16. かわさきたまがわ博
17. スポーツイベントの実施



1. 多摩川の歴史を彩る風景「渡し」

多摩川では45箇所の渡し場跡が確認されており、川崎市域には20箇所の渡し場があったと伝えられ、文献などにより18箇所については位置が確認されています。

「渡し場」が担ってきた流域の歴史文化を後世に伝えるため、「ふるさと遺産・資産事業」として渡し場の復活やこれまでに設置した渡し場跡の碑を活用したイベントを行っています。

◆渡し復活体験

場 所：丸子橋周辺多摩川（丸子の渡し）【中原区】

開催日：

- 2011（平成23）年6月19日（日）参加者数25人
（中原区なかはら散策ガイドの会）
- 9月23日（金）参加者数100人
（中原区上丸子小学校6年生）
- 10月 4日（火）参加者数100人
（中原区西丸子小学校6年生）

場 所：二子橋周辺多摩川（二子の渡し）【高津区】

開催日：

- 2011（平成23）年10月29日（土）参加者数100人
（一般募集）※高津区共催



丸子の渡し復活体験



二子の渡し復活体験

2. 多摩川流域セミナー

多摩川流域セミナーは、多摩川流域自治体と河川管理者である国土交通省、そして市民団体、企業や学識経験者などで構成されている多摩川流域懇談会が主催し、流域の理想像「いい川」「やさしいまち」の実現に向けて、年2～3回開催しています。

今年度は3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、地震が起きた際、自分たちのまちはどうなるのかという視点から、「多摩川の川づくり総点検！」と題し、治水・利水をテーマに、各スポットを巡りながら、参加者との意見交換を行うセミナーを開催しました。

◆2011（平成23）年度開催

第37回 「多摩川の川づくり総点検！〈治水編〉」

テーマ：「震災を踏まえ、過去に学び将来に活かす」

開催日：12月10日（土）

参加者：50人

第38回 「多摩川の川づくり総点検！〈利水編〉」

テーマ：「大規模震災！あなたの飲み水・消防用水は？」

開催日：2月25日（土）

参加者：60人



多摩川を利用した救援物資運搬
といった役割を確認

3. 多摩川多面性調査

◆多摩川多面性調査（GPS機能付き携帯電話での多摩川植生調査）

多摩川多面性調査とは：

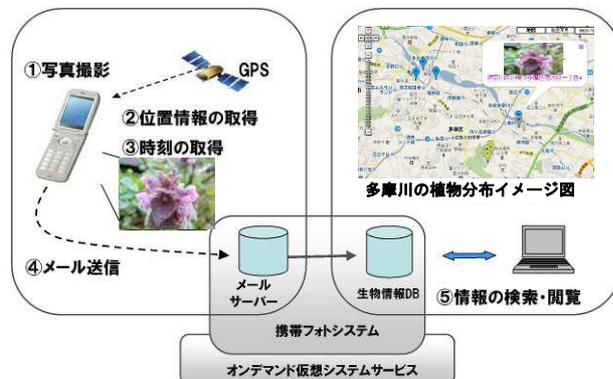
この調査は、多摩川における様々な側面からの情報を電子上のデータベースとして構築し、累計的かつ一元的に管理し、活用を図っていくことを目的に実施したものです。

これまで多摩川流域の各地点では市民団体の活動や環境学習などによる様々な調査が行われてきました。一方で、その成果については紙媒体での取りまとめが主であり、参加者あるいは限られた人にしか情報提供ができず、情報の共有化や他地域、各対象との比較などが困難な状況でした。

このような諸問題を解決するため、本調査では富士通株式会社が開発した携帯フォトシステムによる電子媒体を用いた調査手法を活用し、統一された流域全体の情報収集と多くの人への情報発信と共有化が図れることとなりました。また、市民団体活動の支援や活性化の意味を含め、多摩川で活動する市民団体等との連携も図り、まず第一歩として、多摩川の土手において誰もが興味を持てるような季節ごとに見られる植物の「花」を対象に調査を実施しました。

本調査は、富士通株式会社（企業）、NPO 法人多摩川エコミュージアムと市内3校水辺の楽校（市民）、川崎市多摩川施策推進課と青少年科学館等（行政）がそれぞれの特徴とノウハウを活かした3者のパートナーシップにより実現した事業です。

将来的には、自然的環境に関する情報だけでなく、多摩川を中心とした歴史や文化、レクリエーション、市民活動の取組などを重ね合わせていき、多摩川の持つ多様な「面」と個々の情報を関連付けられるものにするための基礎資料として今後積み重ねを図っていきます。



しくみ：川崎市内の多摩川流域の植物を GPS 機能付き携帯電話のカメラで撮影、その場で位置情報を取得しメールで送信。その後データの分類作業を行うことで植生分布マップが作成されます。

開催日：1回目（春）：2011（平成23）年5月14日（土）、5月22日（日）
 2回目（夏）：2011（平成23）年9月23日（金祝）
 3回目（秋）：2011（平成23）年11月23日（水祝）
 参加者数：各回約40人

場 所：市域の多摩川土手約28km

対 象：1回目（春）：ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、ハマダイコン
 2回目（夏）：ヒガンバナ、クイモの仲間、ワルナスビ
 3回目（秋）：セイタカアワダチソウ、ノギクの仲間、センダングサの仲間

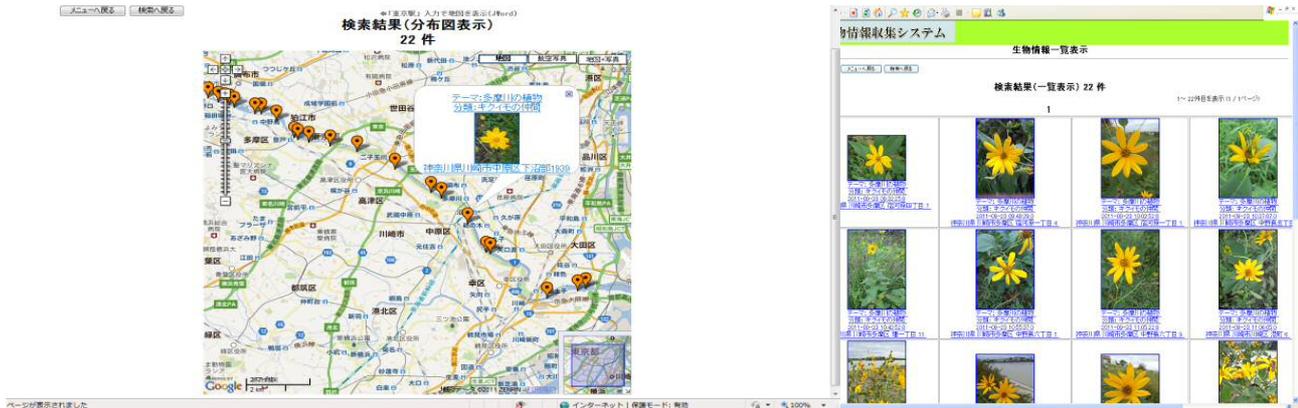
結 果：計3回、各3種類で計271箇所 ※ホームページで閲覧できます

調査の様子：



参加者は苦労しながらも楽しく調査を行い、撮影した写真がすぐにマップ上に表示されることに感心

結果の公開状況



送られた位置情報付きの撮影画像が、マップ上への分布状況（左）と一覧情報（右）として公開されています。※富士通㈱ホームページ「生物情報収集システム」内（例:キクイモの仲間）



マップでは縮尺を拡大したり、航空写真での表示も可能なため、植生ポイントがかなり鮮明に確認できます。（例：センダングサの仲間）

詳細結果（主な分布状況）



ハマダイコンは第三京浜道路の新多摩川橋下を境に、上流域では植生が見られず下流域で群生している状況が確認できました。

ここでの考察ポイントとしては多摩川と汽水域との関連性や、土手の管理状況などによる特徴が現れたものなのかなどを考えるきっかけづくりとなる基礎資料となりました。



ノギクの仲間はハマダイコンとは反対に東急東横線鉄橋付近を境に、下流域では植生が見られず上流域で植生している状況が確認できました。

開花時期が違う種類の植物ですが、ハマダイコンとは正反対の植生状況がマップから見て明確に比較できることで、これらの種類に共通する環境を考えるきっかけづくりとなる基礎資料となりました。

4. サイン整備の推進

2008（平成20）年度に策定した川崎市多摩川サイン計画に基づき、サインの整備を進めています。

2011（平成23）年度には、多摩区宿河原のニヶ領せせらぎ館前に総合案内板を1基、幸区古市場にアクセス誘導サインを1基、大師河原1丁目公園に利用案内板を1基整備しました。

これまでに、56箇所のうち、7箇所に総合案内板等を整備したほか、施設名の表示板整備も進めています。



総合案内板



アクセス誘導サイン



利用案内板

5. 河川敷トイレの利用環境向上

河川敷利用者の方々に快適にご利用いただけるよう、簡易水洗トイレの整備を進めています。

2011（平成23）年度には、菅及び大師河原地区に設置しました。（これまでに汲取り式トイレ39基うち12基を簡易水洗トイレに整備しました。）

利用者の皆様からは、早く更新してほしいとのご意見もいただいておりますので、今後も順次整備を進めてまいります。



6. 有料バーベキュー広場開設

高津区二子橋周辺の多摩川河川敷は毎年多くのバーベキュー利用者でにぎわいますが、モラルの低下による迷惑行為が問題となっていました。そこで、2011（平成23）年4月、迷惑行為の低減と、ゴミ処理費用などにかかる市費負担の軽減を目指し、有料のバーベキュー広場を開設しました。また、増水や降雨等によるバーベキュー広場の閉場等のお知らせはツイッターで行っています。

今年度の年間利用者数は約12万人、1日あたりの最高入場者数は4,802人（5月3日（祝））でした。また、バーベキュー広場有料化後の迷惑行為の変化についてアンケートを行ったところ、改善されたという回答が約85%でした。なお、2012年度（平成24年度）からは指定管理者制度による運営を予定しています。



ツイッター画面

多摩川を整備する

名称：多摩川緑地バーベキュー広場（面積約4.0ヘクタール）

場所：二子橋周辺多摩川河川敷（川崎市高津区瀬田地内）

使用料：一人一回500円（6歳以上）

利用時間： 4月～9月 9時～18時（受付15時まで）

10月～3月 9時～16時（受付13時まで）

※平成24年度からは指定管理者による運営となるため、一部利用条件が変わります。

◆バーベキュー広場周辺河川敷の整備

河川敷へ安全に降りるための階段や園路を整備するとともに、水洗トイレ等の混雑解消を図るため、トイレ（和式3基、洋式2基）、洗い場等の増設を行いました。（平成24年3月完了予定）

7. 北海道日本ハムファイターズグラウンドの跡地利用

中原区上丸子天神町にある旧日本ハムファイターズグラウンドが5月に占用廃止となりましたが、廃止後のグラウンドを、市民の皆様にご利用いただけるように川崎市が占用し、管理を行っております。

現在は暫定的に硬式利用の野球場として使用していますが、周辺も含めた河川敷施設のレイアウトの検討を進めており、今後、策定された整備計画に基づき、設備の配置等を決定し順次整備を進める予定です。



8. 緑地の維持管理

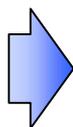
運動公園として、安全快適に利用いただくため、定期的に草刈やグラウンド整備を行っています。一方、広場などではカマキリやバッタなど昆虫の棲みかとなるように草むらの一部刈り残す配慮をされており、メリハリをつけた維持管理を行っています。



草刈作業

9. 施設の更新

腐食や破損がみられるバックネットやサッカーゴールなどの更新を進めています。更新時には出水時の撤去・転倒作業をより迅速に行うため、素材の軽量化や構造の改良を行っています。



老朽化したサッカーゴールの更新



鉄製バックネット



アルミ製バックネット

10. サイクリングコース復旧

川崎区殿町3丁目では国土交通省による高規格堤防工事が行われており、概ね完成したことから、サイクリングコースを復旧しました。なお、コースの幅も従来の2メートルから4メートルへと拡幅しました。

■多摩川河口青少年サイクリングコース

場所：川崎区鈴木町～川崎区殿町3丁目 延長：約3.6km（復旧部分は約800m）

※神奈川県が管理している多摩川サイクリングコース（多摩区布田～幸区東古市場、延長約18.2km）の移管に向けて調整を行っており、平成24年4月から川崎市が管理する予定です。

11. 運動施設の利用環境向上

多摩川緑地は運動公園の一つとして位置づけられていますが、多摩川水系河川整備計画や市民ニーズを踏まえ、運動施設の再配置を進め、河川敷の有効活用と利便性の向上を図っています。

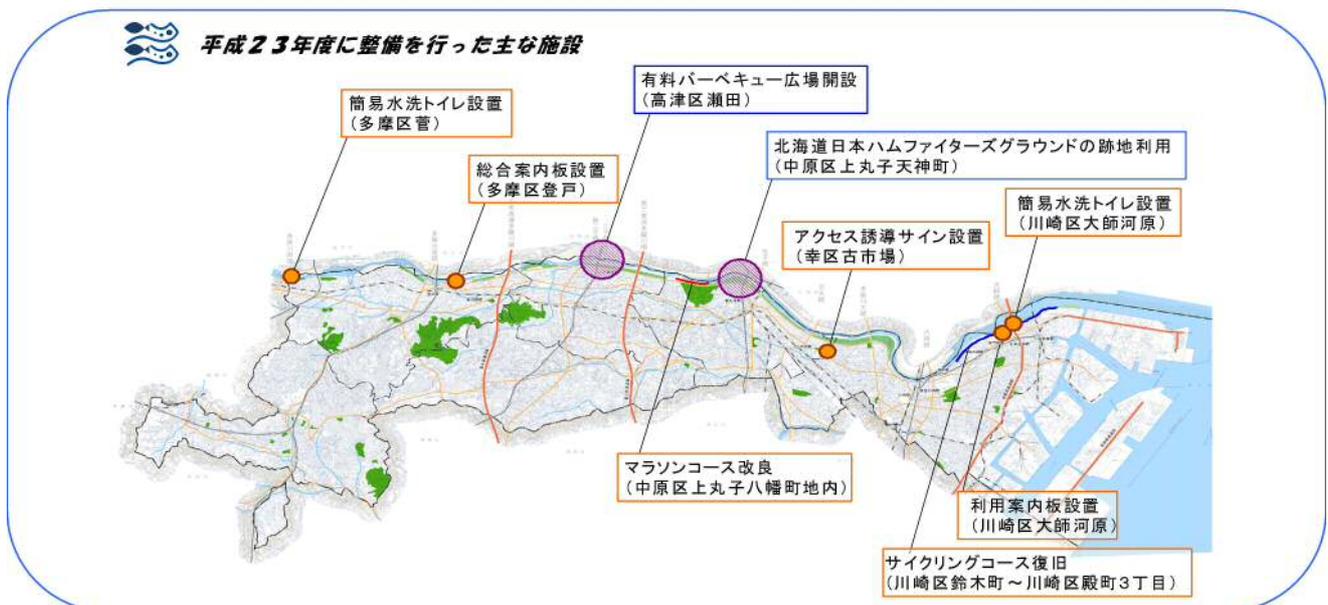
2008（平成20）年度から多摩川緑地丸子橋地区の整備を進めており、2011（平成23）年度は丸子橋第3広場の排水改善、グラウンドの整備を進めています。

12. マラソンコース改良

1996（平成8）年に完成したマラソンコースですが、台風等による多摩川の増水により舗装が傷んできていることから、2009（平成21）年度より、特に傷みの激しい箇所を中心に改修しています。

マラソンコースは緊急用河川敷道路を利用して設置しているため、管理用車両の通行と周辺環境に配慮し、舗装の材料に木質セメントを使用しています。

2011（平成23）年度には、中原区上丸子八幡町地内延長約320mの改良工事を行いました。これまでに改修予定延長約2,360mのうち1,060mの改修が完了しておりますが、水溜り等がところどころにある等のご意見もいただいておりますので、今後もコースの改良を進めていきます。



13. 環境学習

川崎市では、市民団体が協働して管理運営を行っている情報発信拠点施設及び多摩川の環境学習の拠点施設である二ヶ領せせらぎ館、大師河原水防センター（大師河原干潟館）があり、年間を通じて市内外の小中学生が多摩川の自然や歴史などについて学ぶことができます。

開催日：随時

場 所：二ヶ領せせらぎ館【多摩区】

延参加者数：2011(平成23)年度 約3,600人

大師河原水防センター（干潟館）【川崎区】

延参加者数：2011(平成23)年度 約1,300人

※延参加者数は、2012(平成24)年2月末現在の人数



にかりょう かん

◆二ヶ領せせらぎ館（川崎市多摩区）

二ヶ領せせらぎ館は、国土交通省京浜河川事務所が管理する二ヶ領宿河原堰管理所の一部を多摩川の魅力を紹介する情報発信センターとして、平成11年3月に開館し、川崎市とNPO法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営を行っています。平成23年8月には来館30万人を達成しました。他にも環境学習など様々な市民活動が展開されています。

ア ク セ ス：JR 南武線・小田急線 登戸駅下車徒歩 10分

開 館 日：月曜日を除く毎日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

10時から16時まで

（6月～9月までの土日祝は17時まで）※入場無料

問い合わせ先：044(900)8386

<http://www.seseragikan.com/>



だいかわらひがたかん

◆大師河原干潟館（川崎市川崎区）

大師河原干潟館は、多摩川の洪水時などの防災活動や自然環境、地域の歴史・文化などについて情報発信、下流域における環境学習を行う市民活動拠点の愛称です。国土交通省京浜河川事務所が管理する大師



河原河川防災ステーションの一画にある大師河原水防センターの一部を利用し、平成20年1月から川崎市と地元の市民グループで構成する運営委員会が協働して管理運営を行っています。平成23年10月に来館3万人を達成しました。

ア ク セ ス：京浜急行大師線 東門前駅下車徒歩 7分

開 館 日：水曜日、土曜日、日曜日、祝日 10時から16時まで ※入場無料

問い合わせ先：044(287)7882（開館時のみ）

※閉館時は多摩川施策推進課 044(200)2268

<http://www.tamariver.info/higatakan/>

14. 市内3校の水辺の楽校

「水辺の楽校」とは「水辺で楽しみながら学ぶ学校」のことで、川遊びをしたり、生きものや植物などを観察したりしながら、実体験を通じて多摩川の自然への理解とその保全について学びます。

多摩川流域では16市区町村で19の水辺の楽校が活動中もしくは準備中です。川崎市内では2010(平成22)年9月に開校した「だいし水辺の楽校」を含め、「かわさき」「とどろき」「だいし」の3校が多摩川の各水辺の特徴を活かしながら、活発に活動を行っています。

また、水辺の楽校3校合同での河口干潟観察会を行ったり、2011年度は3校同日でGPS機能付き携帯電話を利用した市内多摩川流域の植生調査なども行いました。

- ◆「かわさき水辺の楽校（多摩区）」2001(平成13)年9月開校
宿河原地区のワンドを主なフィールドとして活動
活動例：魚つかみ、源流体験、凧揚げ など
- ◆「とどろき水辺の楽校（中原区）」2002(平成14)年4月開校
等々力地区の魚らん川を主なフィールドとして活動
活動例：野草観察、ガサガサ体験、源流体験 など
- ◆「だいし水辺の楽校（川崎区）」2010(平成22)年9月開校
大師河原地区の河口干潟をフィールドとして活動
活動例：干潟観察会、ハゼ釣り、凧づくり など

2011(H23)延参加者数
(1月末現在)

かわさき：800人

とどろき：1,000人

だいし：250人



投網体験（かわさき）



ガサガサ体験（とどろき）



干潟観察会（だいし）

15. 夏休み多摩川教室

開催日：2011(平成23)年7月26日(火)～27日(水) 延参加者数：400人

会場：東京都調布市多摩川五丁目地先【多摩川河川敷】

主催：多摩川流域協議会

内容：小中学生を対象に、多摩川の環境や生きものなどに興味を持ってもらい、多摩川の自然を研究するきっかけづくりやその保全について考えてもらえるよう、恒例の「夏休み多摩川教室」を開催しました。

多摩川の魚とのふれあいや水生昆虫の観察、降雨体験車による豪雨体験などの災害の体験コーナーなど、様々な催しが開かれました。



川の危険を学んだり、多摩川の生きものにふれあいながら楽しく学びました！

16. かわさき多摩川博

シンポジウムやいかだ下りなどのイベントを通して、多摩川の魅力・情報を発信する事業を「多摩川博」と総称しています。

2011(平成23)年度からは「多摩川の多面性」をテーマに、NPO法人多摩川エコミュージアムと川崎市が協働で行いました。

2011年度は東日本大震災や台風などの影響もあり、「多摩源流まつり」「エコ★カップいかだ下り」は残念ながら中止となりましたが、富士通㈱とも協働して実施した「多摩川多面性GPS植生調査」など新しい試みも生まれました。

◆多摩川桜のコンサート

開催日：2011(平成23)年4月2日(土)

参加者数：約300人(観覧者)

場 所：ニヶ領せせらぎ館前広場【多摩区】

内 容：桜の開花時期に合わせて、ニヶ領せせらぎ館前広場でコンサートを行いました。



今年はチャリティコンサートとして開催

◆多摩源流まつり 2011 (平成23年)年度は東日本大震災の影響により中止

開催日：2011(平成23)年5月4日(水・祝)

場 所：山梨県小菅村(多摩川の源流)

内 容：多摩川の源流のひとつである山梨県小菅村で開催される源流まつりへの参加。

◆河口干潟観察会

開催日：2011(平成23)年6月5日(日)

参加者数：150人

場 所：殿町河口干潟【川崎区】

内 容：子どもを対象に、生き物探しなどの干潟体験イベントを行いました。



何がいるかな～



干潟にいる貴重な生きものの観察

◆生田緑地サマーミュージアム

開催日：2011(平成23)年8月7日(日) 参加者数：約1800人(観覧者)

場 所：生田緑地【多摩区】

内 容：市内随一の緑の宝庫である生田緑地で行われる催しに参加し、市民に緑や水、多摩川の環境について考えてもらうイベントを行いました。



緑の中で遊びながら自然環境を肌で感じていました

◆エコ★カップいかだ下り 2011 (平成23年) 年度は台風12号の影響により中止

開催日：2011(平成23)年9月4日(日) ※予備日 9月11日(日)

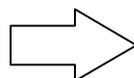
場 所：ニヶ領せせらぎ館下～多摩高校裏の多摩川【多摩区】

内 容：公募参加による廃材等のエコな材料で作った、個性豊かな手作りいかだによる、多摩川下りのイベント。21チームが出艇予定でした。

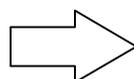
通常時(2010 開催時の状

2011 年度台風12号による増水状

スタート地点



ゴール地点



◆みずウオーク

開催日：2011(平成23)年10月10日(月祝)

参加者数：約1200人

場 所：多摩川沿いのコース(ニヶ領せせらぎ館発着)【多摩区】

内 容：「水辺の自然を楽しみながら健康づくり」をキャッチフレーズとするウォーキング大会「みずウオーク」を読売新聞社と実施しました。2011年度は東北復興支援事業の一環として東北各地の物産の販売なども行いました。



マラソンの谷口浩美氏も参加し、多摩川とニヶ領用水沿いを歩きました



東北復興支援ブース

◆かわさき多摩川博シンポジウム

開催日：2011(平成23)年12月3日(土)

参加者数：約100人

場 所：エポックなかはら【中原区】

内 容：「多摩川の多面性」をテーマに自然災害の歴史や魅力といった様々な顔をもつ多摩川を多角的に捉える総合的なシンポジウム。事業報告や基調講演、パネルディスカッションなどを行いました。



多摩川への熱い思いが集結

17. スポーツイベントの実施

◆多摩川カヌー教室

開催日：2011（平成23）年8月7日（日）

参加者数：93人

内容：カヌー体験

（カヌー基礎知識講習・カヌー操作方法等の水上講習）安全講習（救急法講習）



◆川崎国際多摩川マラソン

開催日：2011（平成23）年11月20日（日） エントリー数：6,678人

会場：川崎市等々力陸上競技場【中原区】

コース：川崎市等々力陸上競技場（スタート、フィニッシュ）

多摩沿線道路および多摩川河川敷マラソンコース

種目：ハーフマラソン、10km、3km、親子ペアランニング



◆多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎

開催日：2012（平成24）年3月18日（日）

会場：川崎市古市場陸上競技場【幸区】

コース：多摩川河川敷マラソンコース

多摩沿線道路および多摩川河川敷マラソンコース

種目：ショートの部（中学生以上）キッズ・ファミリーの部（小学生以上）ロングの部（高校生以上）





多摩川 は 今
川崎市多摩川プラン事業実施報告書
2011

発行：2012（平成24）年3月
川崎市多摩川プラン推進会議

事務局：川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
電話：044（200）2265
FAX：044（200）7703
E-mail：53tamasu@city.kawasaki.jp

